

令和5年度 羽曳野市立古市南幼稚園学力向上推進計画

教育目標

心豊かで力いっぱい遊ぶ子どもを育てる

幼児や保護者の姿

- 素直で人懐っこく、天真爛漫で、感じたことを素直に言葉にして伝えようとする。
- 基本的な生活習慣は身につけており、自分で行おうとするが、行動がゆっくりな幼児もあり、個人差がみられる。
- 日常の中で、よく物事を見聞きし、何事にも好奇心・探求心がある。いろいろな経験を通して、尋ねたり調べたりして、知識を深めようとする姿がある。
- 保護者は、徒歩通園を行い子どもとのかかわりの時間を大切にしている。また子どもの思いに寄り添い、子どもの声に耳を傾け熱心に聴く姿がある。

課題と展望について

- ① 基本的な生活習慣を身につけ、生活のリズムを整える。
- ② 何事にも喜んで取り組めるよう、心と身体のバランスをとる工夫を行う。
- ③ 幼児の実態に合わせた環境構成の見直しと工夫を行う。
- ④ 様々な人とのかかわり、人とのふれあいを通して、心豊かな成長を促すための手立てを考える。
- ⑤ 保護者に園の教育活動の理解を図り、積極的な参加、協力体制をつくり連携をとる。
- ⑥ 15年教育のつながりをきちんと意識し、日々の教育に取り組む。
- ⑦ 地域との連携を深めながら、協力関係を強化し、地域と園が手をつないで、子どもの健やかな成長をめざす。

重点研究テーマ

一人一人の心が輝く教育をめざして

学校園方針

- 豊かな心を育む
 - ・ 興味、関心、意欲を高める
 - ・ コミュニケーション力を身につける
 - ・ 知的好奇心を養う
- 我慢する心、頑張る力、協力、協調性、社会性、道徳性の育成、生活リズムを整え、主体的に遊ぶ力を育てる
- 子どもの思い・親の思いを探り、問題点を改善し、ねらい・目標を明確に表して伝え、幼稚園教育の理解を得るための工夫を図る
- 教育内容の充実と資質の向上に努める
- 聞く、話す、考える態度を身につける
- 様々な人との出会いふれあいを大切にし、信頼関係を築く
- 家庭との連続性を踏まえた支援を行う
- 保幼小中連携を工夫し、学びに向かう力を育てる

めざす子ども像

○ 誉田中学校区のめざす子ども像

- 自ら学ぶ子
- 思いやりのある子
- 健康でたくましく生きる子

○ 古市南幼稚園のめざす子ども像

- 健康で明るく、いきいきと活動する子ども
- 友達と仲良く遊び、思いやりのある子ども
- 自然に親しみ、生命を大切にする子ども
- 豊かな感性をもち表現できる子ども
- 進んであいさつができる子ども
- 喜んで話し、よく聴き、考えて行動する子ども

具体的取り組み

- * 子どもの心を受け止めるための余裕をもつ。
- * 基本的な生活習慣を身につけ、家庭とも共通して行う。
挨拶運動や基本的な生活習慣の自立に向けての園での取り組みと家庭への連絡、啓発を行う。
- * 一人一人の子ども心の動きをキャッチしながら、「やってみたい」「遊びたい」の声を逃さず日々の教育の中に取り入れ、心を躍らせなくてはならない。
- * 教師は子どもの良きモデルとなり、研修に参加する（リモート含む）など資質向上に努める。
- * 健康な心と体づくりをする。
挑戦意欲を高め、身体を動かす遊びを積極的に取り入れ、自然と体力向上につながるよう工夫する。
また、園庭だけでなく石川河川敷公園を活用し自然の中での心地良さも体感できるようにする。
- * 保護者との連携・協力を図る。
- * 様々な人とのかかわりをもつ
中学校区の校種間連携
幼稚園交流（遊びの交流・外部講師活動の交流など）
小学校との交流（5年生との交流・給食体験・体験入学・教職員間交流など）
中学校との交流（職業体験・プラスバンド鑑賞など）
- * 未就園児との交流（たんぼぼ広場・子育てサロン）園児とのかかわりを大切にする。
- * 更生保護女性会・民生児童委員の方との交流（挨拶運動、園外散歩、もちつき等での交流）
- * 地域との交流（お話の会・古南フェスティバル）